

介護者の会ネットワーク会議かわらばん

日時：2015年5月29日（金）14：00－17：00

会場：東京在宅サービス3階会議室

参加者：21名、オブザーバー2名

1. 自己紹介・近況報告

- ・新しい世話人が加わった。
- ・介護者の悩み相談が少なくなっているのが悩み。
- ・現役の介護者がほとんどなので、会を開くことで精いっぱい。サポーターをいれることについては、意見が分かれる。継続の難しさを感じている。
- ・会員、介護者自身も高齢化している。若い世代に運営を移していきたい。

2. 会の悩み事等の意見交換

(1)「参加された方を、次の参加につなげるためにはどうしたらよいか。区が絡んでいるので、個人情報ももらっていない。またパンフレットの問い合わせ先も行政となっている。」

- ・今できることをまずやり、じっくり待つということも大事では。人が来なくても、場を開くことが大事。
- ・1回きりの人は多い。それで事足りる人もいて、それでも良いかなと思っている。時には、会に魅力がないかと悩むこともあるが・
- ・連絡先は、ノートに書きたい方だけ書くという方式にしている。交通事情が悪いので、お迎えに行ったり、お誘いもすることもある。
- ・会が終わった後に、「今日はどうでしたか？」と聞いてみる。すると話せなかった人も話して帰れる。こちらからは連絡しない。
- ・帰る際に、エレベーターの前まで一緒にいって今日はどうだったのか、きいてみる。積極的にアプローチしていない。来たくても行けないということもあるのでは。困った時は連絡くださいと声かけている。
- ・会員同士で連絡先を交換して会以外にでもあって話しをしていたり、といったこともある。電話・メールで相談等があれば対応するが、会から特別なアプローチはしていない。
- ・色々悩んだこともあったが、長く続けることが大事と気持ちをきりかえた。
- ・帰りに連絡先を聞いている。1回だけの方もいれば、時間がたってひょっこり現れる方も。最初は、ひとりひとりに対して丁寧に対応していたが、続けられなかった。

(2)「看取りが近い方が多く、専門職しか答えられないことも多かったり、入り込みにくい相談がある方もいる。どのように対応しているか皆さんの意見をききたい。」

- ・すでに看取り経験のある参加者がいるので、その人が相談に乗ったり、対応している。なので、困らない。場合によっては、お医者さんに聞いてくださいともいう。
- ・経験は話してもらい、情報を提供するが、どれが良いかは言わない。その方に判断してもらおうようにしている。
- ・体験談を話すときは、「私の場合は～」と主語をつけて話すようにする。
- ・専門的な知識・情報を持っていないので、きくだけ。不安を吐き出す場なので、専門的な情報を伝えることはしない。

3. 介護保険改正、総合事業等各自治体の動き

現在、皆さんがやっている活動（集い・サロン・カフェ等のインフォーマルサービス）に価値があり、今後大事な役割を担っていくと思う。

今は、各自治体がどう動いているのか、情報がよく見えないのが現状のように思う。

4. ケアフェス

9月27日に上智大学四谷キャンパスにて開催予定

介護者の会が主体で始まったイベントだが、子ども・障害者にケアの意味が広がっている。また若い世代、多重介護など多様化する介護の形がテーマとなっている。

介護者の会ネットワーク会議としては、アラジンプースの中で、各会のチラシを置くなどの出展をすることとする。当日の準備、当日の当番はシフトを組んで対応する。

5. その他

①認知症カフェ等の情報収集についてのお願い

NPO 法人認知症ラボとアラジンが協働して、認知症カフェ等の情報収集をすることになったので、情報提供してほしい。

②かわら版についてのお願い

アラジンのHPリニューアルにあたり、HPにかわら版を掲載する予定。掲載の際に、確認をお願いしたい。

③介護者支援関連フォーラム：

- ・ケアラー連盟ーケアラー支援フォーラム 2015 : 6月21日
- ・アラジン&介護者支援団体全国連合会共催ー介護者フォーラム 2015 : 6月27日

④全国介護者支援団体連合会について

昨年発足し、会員を募っている。会員は、6月28日の総会、自主研究会等に参加可能。